検査値一覧表(基準値:2025年6月1日現在)

略号	検査項目	基準値	単位	項目の説明
WBC	白血球数	3.3-8.6	×10 ³ /μL	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。
Segment. Neutro	好中球	35-74	%	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、抗がん剤投与では顕著に減少します。
Hb	血色素量	男性: 13.7-16.8	g/dL	赤血球中で酸素の運搬を担うタンパク質の量です。貧血や多血症を推測することができます。
		女性: 11.6-14.8		
PLT	血小板数	158-348	×10 ³ /μL	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合にその原因を探るための検査の一つです。
Alb	アルブミン	4.1-5.1	g/dL	栄養状態、肝・腎障害などの指標です。
T-bil	総ビリルビン	0.4-1.5	mg/dL	黄疸の確認に用います。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13-30	U/L	肝臓、心臓等の障害の指標です。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男性: 10-42	U/L	肝臓の障害の指標です。
		女性: 7-23		
CK	クレアチンキナーゼ	男性: 59-248	U/L	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。
		女性: 41-153		
SCr	血清クレアチニン ※1	男性: 0.65-1.07	mg/dL	腎機能・筋肉量の指標です。
		女性: 0.46-0.79		
eGFR	推算糸球体濾過量	—	mL/min/1.73m ²	SCr、年齢、性別から推算するもので、腎機能の指標です。
K	カリウム	3.6-4.8	mEq/L	電解質のバランスの指標です。神経伝達や筋伸縮に関与しています。
Ca	カルシウム ※2	8.8-10.1	mg/dL	電解質バランスの指標です。カルシウム濃度を調整している臓器の障害を把握する指標となります。
CRP	C反応性蛋白	0-0.14	mg/dL	炎症の指標です。感染症や手術、自己免疫疾患などで上昇します。
HbA1c (NGSP)	糖化ヘモグロビン (国際標準値)	4.9-6.0	%	血糖コントロールの指標です。
PT-INR	プロトロンビン時間(国際標準比)	0.9-1.2		血液の凝固能を示す検査値です。

※1 Cockcroft & Gaultの式

クレアチンクリアランス(推定値)
(mL/分)

$$= \frac{(140 - \text{年齢}) \times \text{理想体重 (kg)} (\text{女性} \times 0.85)}{72 \times \text{血清クレアチニン (mg/dL)}}$$

※2 補正カルシウム濃度(mg/mL) = 実測カルシウム濃度(mg/dL) + [4 - 血清アルブミン濃度(g/dL)]
低アルブミン血症(4g/dL未満)のある場合は補正值を用いる

【追加】

クレアチンクリアランスについては、尿中クレアチニン値を用いた24時間クレアチンクリアランスのみ実施

24時間クレアチンクリアランス
(mL/min)

$$= \frac{\text{尿中クレアチニン} \times (\text{尿量} + 1440) \times 1.48}{\text{血清クレアチニン} \times \text{体表面積} \times 60}$$

※体表面積 = (体重^{0.425} × 身長^{0.725} × 0.007184)